

令和8年度 採用4年目職員研修 実施要領

- 目的 組織の中での役割を理解し、住民や上司・後輩の想いや状況を感じ取る力を育み、多様な価値観を理解する力を持つ職員を育成する。
- 対象者 勤務年数4年目の職員
- 定員 各60人

日程		会場	備考	形式
10:30	●Aコース 5月14日(木)	高知県自治会館	○事前課題	
}	●Bコース 5月15日(金)		あり(当日持参)	
	●Cコース 7月9日(木)		○持参物	
	●Dコース 9月3日(木)		職場でお使いの名札	
15:30	●Eコース 9月4日(金)		筆記用具	

カリキュラム

コミュニケーション (聴く力)	概要 : 相互理解を促進するために傾聴力を身につけ、住民対応力や職場内コミュニケーションの質を高める。
	A・Bコース 講師 : 株式会社人生は上々だ 代表取締役社長 村上 モリロウ 講師から : みんな、「知らない」から、集まらないし、力を貸さないし、買わないし、良くしない。それは無関心ではなく、「未認知」が原因です。未認知を解決する手段がアイデアのあるクリエイティブです。私はあらゆる課題に対する未認知を、「知りたい」に変えていくことから、地域はより良く変わっていくと考えています。
	Cコース 講師 : 株式会社HYAKUSHO 代表取締役 湯川 致光 講師から : 仕事のやり方もだいぶわかってきた。組織の良いところと良くないところも何となくわかってきた。さて、これからのキャリアをどう考えるのか？自分の強みをどうつくっていくのか？それは出来るだけ多くの他者と会うことで見えてきます。他者のことを考えていたら、自ずと自分が見えてくるという逆説。今回の研修はそのようなきっかけを得られると思います。
	D・Eコース 講師 : 株式会社NINO 代表取締役 二宮 敏 講師から : いつも何気なく通っている道や、まちの風景、隣に住む人。当たり前の日常も、少しだけ意識を向け、視点や関心をもつことで、全く違って見えてきます。行政職員として地域を見る前に、一人の生活者として、そのまちにすでにある豊かさに気づくこと。その気づきが、これからの仕事や、まちづくりに向き合う姿勢を、静かに、しかし確実に変えていきます。この研修が、そんな一歩を踏み出すきっかけになればと思います。
	ファシリテーター : 株式会社HYAKUSHO 代表取締役 湯川 致光 経済産業省 四国経済産業局 総務企画部 参事官 椿原 信雄 東かがわ市総務部戦略情報課 官民連携マネージャー 寺西 康博

※講師とファシリテーターの2名体制で研修を実施します。

	コース	講師	ファシリテーター
各コース 登壇者表	A	村上 モリロウ	湯川 致光
	B	村上 モリロウ	寺西 康博
	C	湯川 致光	椿原 信雄
	D	二宮 敏	椿原 信雄
	E	二宮 敏	寺西 康博